

令和元年度 第1回岐阜市障害者総合支援協議会 議事要旨

令和元年5月23日(木)  
午後3:30~5:00  
ぎふメディアコスモス  
かんがえるスタジオ

1. 福祉事務所長あいさつ
2. 辞令書交付
3. 委員紹介
4. 岐阜市障害者総合支援協議会について  
→資料1により、事務局が概要説明
5. 会長選出等  
→社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会 常務理事 佐橋 伸弘 氏を選出  
職務代理者に公立大学法人 岐阜県立看護大学 准教授 山本 真実 氏を指名
6. 平成30年度障害者総合支援協議会・専門部会活動報告について  
→事務局より平成30年度開催実績を報告し、意見・質問を求める。  
<意見>  
特になし。
7. 令和元年度障害者総合支援協議会・専門部会の開催について  
→事務局より令和元年度の開催日程や内容を提示し、委員に意見を求める。  
<意見>  
➤ 第1回就労定着支援について  
昨年度の専門部会では就労定着支援の現状を共有できた。関係機関とのすみわけや連携について今年度も深めていけると良い。  
➤ 第2回孤立化防止について  
アンケート対象者の90%についてなんらか状況把握ができたことは大きな成果。当事者及びその家族が孤立してしまう状況を把握し、支援体制を構築していくためにも、継続的に検討できると良い。

➤ 第3回聴覚障がいの理解について

聴覚障がい者は、コミュニケーションの困難さを感じることが多い。岐阜県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用促進に関する条例が施行されたが、今後も一層の周知が必要であり、聴覚障がい者が気軽にコミュニケーションできるような環境をどう整えていくかが課題。加えて当事者の高齢化に伴い、聴覚障がいがある高齢者も安心して使える施設や、相談窓口について、専門部会でも検討できると良い。

➤ 第4回医療的ケア児の支援について

昨年度は医療的ケア児や家族、支援者の現状を共有することができた。今年度は、医療的ケア児や社会資源を見える化し、具体的に把握することで、実際の支援につながるよう進めていけると良い。

➤ 第5回居住支援について

住むところを探す上での保証人の問題もあるが、住み始めた後の生活環境を整え、地域で生活していく上でのルールを学ぶことも必要であり、そのための支援についても関係機関と話し合う機会になると良い。

➤ 分野別連携ネットワークについて

介護保険分野において65歳時のサービス移行の支援についても検討することを確認。

(会議の様子)

